

主張

大は国家から、小は個人的なものまで、危機管理は多岐にわたり、

人の生き様にも影を落とす主題であるが、今はやはり新型コロナウイルス感染症問題であろう。

危機管理能力というのは、未来を見通す想像力があつてこそ可能な能力と言えらると思われ、当然状況の把握と理解が的確であることが基本である。

詰まるところ現在の情

報の収集が必要かつ十分に行われてこそ成果が上がるというものだろう。新型コロナウイルスによるパンデミックという事態は未

起こったわけでもないのだから社会のリーダーは学習し、前車の轍を踏むことなく国民を危険にさらさないように、想定外

気、覇気である。パンデミックは人類と新型コロナウイルスとの戦いであり、ウイルスと戦うのは一般市民である。戦いは

ある。

この平凡な、しかし重要な行動を市民が緊張を保ち、怠ることなく続けるためには、真剣味のある司令塔（リーダー）が必要である。TVで拝見する画面の中で、落ち着いて、分析し、指示・説明する自治体リーダーを見ることがある。問題解決のためにひたむきになる姿を見ると勇気付けられる。戦いはまだ終わってはいない。

危機管理

知の事項が多く、対策が立てにくかったということは、ある程度理解ができるというものの、パンデミックが世界で初めて

のことなどと言いつつ、ることなくリードし説明する責務があるのではな

毎日三密に気を配り、手を入念に洗い、マスクをつけ、うがいをし、標準的予防策を励行するとい

う日常を続ける戦いで